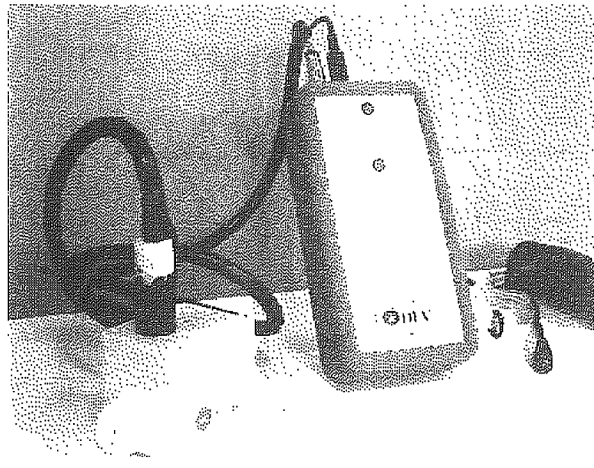


ナノバブル装置量産

西研デバイズ 魚介養殖に照準

【神戸】西研デバイズ（大阪市淀川区、西進社長、06・6885・8241）は、マイクロナノバブル発生装置の量産を3月に始める。世界的な魚介人気を背景に、養殖事業向けなどで需要拡大が期待できる。従来の受注生産に加え、新たに開発した汎用性の高い標準品で需要を取り込む。2018年9月期の売上高は、前期比約2倍の1億円以上を目指す。



廃液処理・菌類培養も

西研デバイズは本社し、マイクロナノバブル発生装置を月間10

0台規模で量産する。容量が20リットルまでの水槽に対応した投げ込み式小型装置「BABImini」や、1リットルの大

西研デバイズが開発した小型装置「BABImini」など、標準品として開発した4機種を組み立て加工する。開発品は効率的な酸素供給ができるなどで、魚介の養殖、廃液処理、食品の菌類培養用途など、広い需要が期待できるといふ。賃貸工場は敷地面積700平方メートル。建屋は3階建てで、延べ床面積

約660平方メートル。当装置やガス冷却装置などはマイクロナノバブル発生装置の量産を担うが、将来は冷凍固定

低温凍結装置などの熱関連機器メーカー。17年9月期の売上高は5900万円。

関西3空港懇談会再開

関西国際空港と大阪国際（伊丹）空港、神戸空港の有効活用について議論するため、関西3空港の再開に向け動きだ

関西国際空港と大阪国際（伊丹）空港、神戸空港の有効活用について議論するため、関西3空港の再開に向け動きだ

観光案内窓口17カ所追加

都、168カ所に拡大

東京都は東京観光案内窓口としてホテルグランドパレス（東京都千代田区）など新たに17カ所を指定した。2月下旬以降、順次サービスを始める。全体で168カ所の窓口設置

業者を募集する。都による支援内容は、屋内型デジタルサイネージの貸与やモニター付コールセンターサービス提供、整備に必要な経費の一部も支援する。補助金の補助率は3

賃貸工場は敷地面積700平方メートル。建屋は3階建てで、延べ床面積

変化はチャンス 福商が新年祝賀会

【福岡】福岡商工会

改造

